

平成目安箱への回答 No.6 (大磯町の広報誌の配布方式をポスティングにしよう)

担当主管課：政策課（内線 207）

要望等内容	回答
<p>大磯町の広報誌の配布方式が新聞折り込み式か、自治会・町内会に配布するやり方か、ポスティング形式か知らないのですが、ポスティング形式にしよう。</p> <p>新聞は講読者が減っていますし、自治会・町内会により配布も自治会に入っていない人には配られません。ポスティング形式にすれば契約するポスティング会社によりますが、全世帯に配れるはず。その際民間の広告を折り込めば町が支払う料金は最小限に抑えられます。</p> <p>ご一考をお願いします。</p>	<p>町政につきまして、日頃からご理解、ご協力いただきありがとうございます。</p> <p>大磯町の広報誌の配布方式について、ご提案をいただきました。</p> <p>現在、当町で発行している広報誌「広報おおいそ」の配布は、一般社団法人大磯町シルバー人材センターに各地区自治会の指定場所への搬入を、自治会に各世帯への配布を委託しています。</p> <p>また、アパート居住者など自治会で把握が困難な世帯へは、公共施設及び町内のコンビニエンスストアへの配架をすることで対応しています。</p> <p>さて、ご提案をいただいた「ポスティング形式」の導入についてですが、「自治会の皆さまの配布作業の負担軽減」、「全戸一律配布による未配布世帯の解消」などの効果が期待できる一方、配布に係る費用が大幅に増加することが課題となります。</p> <p>加えて、町としては、自治会に委託することで配布時での独居高齢者への声掛け等、町民相互のコミュニケーション創出の機会となる側面も期待しているところです。</p> <p>一方、昨今のICT技術の普及や省資源化の観点から、紙ベースでの情報提供からホームページやSNSを活用した情報提供する方法を力点に変えていくべきとの考え方もあると認識しています。</p> <p>町としては、現在でもパソコンやスマートフォンを通じ情報提供を実施していますが、こうした方法をさらに充実することで、より多くの方に手軽できめ細かな町政情報の発信ができるものと考えています。</p> <p>ただ、紙ベースの広報誌の配布は、当面、有力な情報提供手段として活用していく必要がありますので、ICTを通じた情報提供の充実と併せて、広報誌配布のあり方については、機会をとらえて自治会の方々の意見も伺ってまいります。</p> <p>この度は、貴重な御意見をいただきありがとうございました。</p>

目安箱受付日：R3.12.27

掲示日：R4.1.28